



最先端の設備で
付加価値の高い製品を生み出す。

金属製品製造業 株式会社 九州メタルテックス

鋼板の原板を鋼板メーカーより仕入れ、建築・機械製造・造船向けの用途に、各顧客の要求仕様に基づいて、ガス及びレーザー切断機にて原板より切り出し、それに穴をあけ、曲げ、開先などの後、加工を加えたものを製品として販売している。最新の設備を多数取り入れており、高精度の加工ができるのが特徴。また株主企業である九州ガスホールディングスグループにHグレードの鉄骨建設会社等があるため、安定した受注が見込めるのも強み。



事業のテーマ

先端加工機の導入による生産性と付加価値の向上

事業のきっかけ

鋼板の加工は「開先加工」「穴あけ加工」「曲げ加工」等の後加工製品の付加価値が大きい。しかし当社の開先加工機は手動のため、作業員の熟練度により品質の安定が難しく、人が常時ついておく必要もあり、生産性が低い。また手動のため、機械のプレにより、どうしてもキズが発生してしまい、顧客不満に繋がっていた。そうした顧客の要望に応えられないものは外注へ出す必要があるだけでなく、高精度の開先加工ができないために、切断の仕事まで失う現状があった。

事業内容・成果

新たに導入したのは「自動開先機シンクス」。2000mmまでの長さで製品がセットでき、機械にデータを入力すると、切削面積を割り出し、適したスピードで送り出し、自動で開先加工を行う。これにより開先能力が向上したのはもちろん、キズの発生がほぼなくなり、切断面の精度が向上した。また一度データを入力すると、常時、作業員がついている必要がなく、安定的な品質で開先加工ができるようになった。外注に出す必要がなくなったばかりか、他社から開先加工の仕事の依頼が来るようになったのも大きな成果であった。

今後の展望

当社は鉄骨構造の建物建築に必要な最新のドリルマシンをはじめ、最先端の設備を有していることもあり、他社からの受注が増加している。今後はさらに設備を充実させ、仕事の幅を広げたい。そのためにも工場の拡張など、次の展開を検討していきたい。

●ものづくり補助金活用

開先能力

1000m/月 →
2500m/月

安定的な品質で開先加工ができるようになった上、
内製化が実現した。



株式会社九州メタルテックス
長崎県諫早市津久葉町278-12
TEL/0957-26-1421 FAX/0957-26-8791
代表取締役/板部 隆一
設立/1989年5月22日
資本金/30,000,000円
業種/金属製品製造業
従業員数/39名